

# 冷熱衝撃試験器



## ■ 急激な温度変化を加え、試料の劣化、膨張、収縮具合を確認

2ゾーン、3ゾーン方式で、高温側恒温器は+200℃まで、低温側恒温器は-75℃まで制御可能。高温・低温による急激な温度変化を加え、加速劣化させます。

## ■ 高精度な温度復帰

吹き出し口からの風量、風速、風向きを風向板により調整し、テストエリア内の環境をより均一にしました。

## ■ 省エネ、エコ運転機能に予冷・予熱時間を自動設定

温度復帰時間を正確に満足させながら、予冷・予熱に必要な熱量を絶えず計測して、予冷・予熱の最短運転時間を自動的に算出するアルゴリズムを新しく開発。消費電力をさらに低減できました。節電と再現性・信頼性が両立した試験が行えます。

## ■ より安心してご使用頂ける5年保証

装置のご導入から安心してご使用いただける長期5年保証です。

※日本国内でのご使用の場合に限ります。

代表型式	TSA-73EL-A	TSA-73ES-A/W	TSA-73EH-W	
電源	AC200V 3Φ 3W 50/60Hz			
方式	ダンパ切替による2ゾーン方式	ダンパ切替による2ゾーン及び3ゾーン方式		
性能※1	高温さらし温度範囲	外囲温度+50～+200℃	+60～+200℃	+60～+200℃
	低温さらし温度範囲	-65～0℃	-70～0℃	-70～0℃
	温度変動※2	±0.5℃	±0.5℃	±0.5℃
	高温恒温器温度上昇時間※3	常温から+200℃まで 15分以内	常温から+200℃まで 15分以内	常温から+200℃まで 15分以内
	低温恒温器温度下降時間※3	常温から-70℃まで 40分以内	常温から-75℃まで 40分以内	常温から-75℃まで 50分以内
	温度復帰性能	復帰条件	高温さらし +125℃ 30分 低温さらし -40℃ 30分 定格電圧 センサー位置:試料風上 試料6.5kg	高温さらし +150℃ 30分 常温さらし 外囲温度 5分 低温さらし -65℃ 30分 定格電圧 センサー位置:試料風上 試料6.5kg
復帰時間※4		5分以内	5分以内	5分以内

※1 空冷:外囲温度が+23℃における値。水冷:外囲温度が+10～+30℃、冷却水温度+25℃における値

※2 IEC 60068-3-5:2001(JIS C 60068-3-5:2006)およびJTM K 07-2007に準拠

※3 温度上昇下降時間は各恒温器単体運転時の性能

※4 温度復帰時間における許容差はIEC/JIS C 60068-2-1および、IEC/JIS C 60068-2-2に基づきます

■価格、詳細仕様等につきましては別途お問い合わせください。  
その他の型式は各営業拠点にご確認ください。

## エスペック株式会社

本社

530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

Tel:06-6358-4741 Fax:06-6358-5500

●製品に関するお問い合わせは  
□ライフ事業プロジェクト  
Tel:06-6358-3093 Fax:06-6358-5176  
□最寄営業所

●製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。